資料４－１

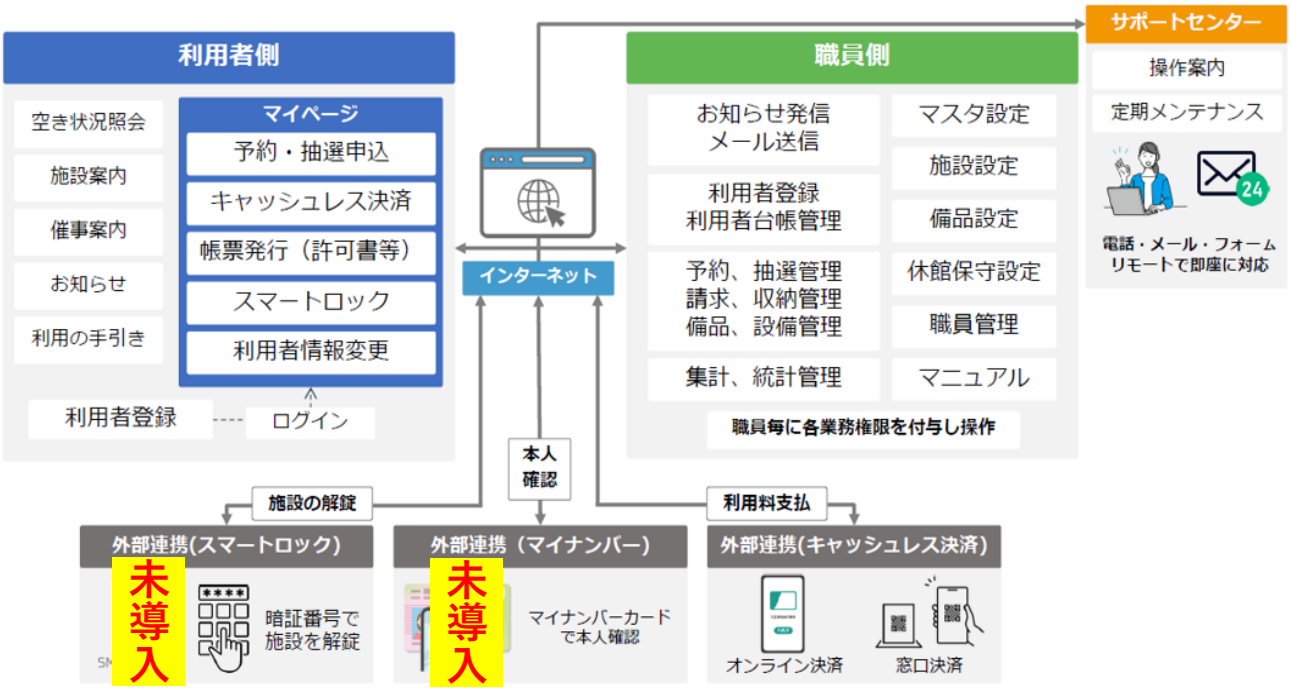
公共施設予約システムの導入について（報告）

１　目的及び導入経過

これまで電話や窓口で行っていた公共施設の利用予約について、利用希望者がインターネットを通じて手軽に空き状況の確認や予約、使用料等のキャッシュレス決済を行える環境を構築し、利用者の利便性向上および事務の簡素化を図るため、公共施設予約システムを導入。

体育施設では令和元年から予約システムを導入しているが、新たにキャッシュレス決済などの機能を備えたシステムへと更新するとともに、対象施設を公民館や学校施設などへ拡大。

２　システム概要



３　導入時期

令和８年３月１日から予約開始。段階的に導入施設数を追加。

市ホームページからアクセス（スマートフォンからもアクセス可能）

４　導入システム

クラウドサービス型　公共施設予約システム　「いつでも貸館」

（導入業者：株式会社パストラーレ　東京都中野区）

５　対象施設　１０８施設　（うち、公開せず内部用として　１３施設）

資料４－２のとおり

６　期待される効果

⑴　Web 上で利用可能施設や空き状況を確認・予約することができ、利便性が向上する。

⑵　電話等で受付していた利用予約が Web 上で行えるため、事務処理にかかる時間が減少する。

⑶　施設の稼働率や利用料徴収の状況等のデータにより、利用状況の実態を把握することが可能となり、施設再配置を検討する際の基礎的な数値として活用できる。

公共施設予約システム対象施設一覧（R8.7.17現在）

資料４－２

No.	施設名		市HP掲載	ｷｬｯｼｭﾚｽ決済	担当部署
	スポーツ施設				
1	上田城跡公園スポーツ施設	体育館	掲載する	○	スポーツ推進課
		第二体育館	掲載する	○	
		弓道場	掲載する	○	
		野球場	掲載する	○	
		陸上競技場　※空き状況照会のみ	掲載する	×	
		相撲場	掲載しない	×	
		ボクシング場	掲載しない	×	
2	染屋台多目的グラウンド		掲載する	○	スポーツ推進課
3	河川敷スポーツ施設	千曲川市民緑地芝グラウンド	掲載する	○	スポーツ推進課
		上堀グラウンド	掲載する	無料	
		塩尻グラウンド	掲載する	無料	
		諏訪形グラウンド	掲載する	無料	
		諏訪形第二グラウンド	掲載する	無料	
		古舟グラウンド	掲載する	無料	
		小牧橋マレットゴルフ場	掲載しない	無料	
		ハープ橋マレットゴルフ場	掲載しない	無料	
		古舟橋マレットゴルフ場	掲載しない	無料	
4	仁古田新池マレットゴルフ場		掲載しない	無料	スポーツ推進課
5	自然運動公園	総合体育館	掲載する	○	スポーツ推進課
		室内多目的運動場	掲載する	○	
		多目的グラウンド	掲載する	○	
		マレットゴルフ場	掲載しない	無料	
		プール	掲載しない	×	
6	別所温泉テニスコート		掲載する	○	スポーツ推進課
7	市民の森公園	体育館	掲載する	○	スポーツ推進課
		多目的グラウンド	掲載する	○	
		バーベキュー場	掲載する	無料	
8	古戦場公園	県営上田野球場	掲載する	導入準備中	スポーツ推進課
		多目的グラウンド	掲載する	導入準備中	
		テニスコート	掲載する	導入準備中	
		室内多目的運動場	掲載する	導入準備中	
9	川西社会体育館		掲載する	○	スポーツ推進課
10	上野が丘社会体育館		掲載する	○	スポーツ推進課
11	丸子地域スポーツ施設	総合体育館	掲載する	○	スポーツ推進課
		総合グラウンド	掲載する	○	
		テニスコート	掲載する	○	
		長瀬屋内ゲートボール場	掲載しない	×	
		東内屋内ゲートボール場	掲載しない	×	
12	丸子北部スポーツ施設	北部体育館	掲載する	○	スポーツ推進課
		北部グラウンド	掲載する	○	
		柔道場	掲載する	○	
13	真田地域スポーツ施設	真田体育館	掲載する	○	スポーツ推進課
		真田運動公園グラウンド	掲載する	○	
		テニスコート	掲載する	○	
		屋内ゲートボール場	掲載する	○	
		洗馬川公園グラウンド	掲載する	○	
14	アンダーアーマー菅平アリーナ		掲載する	○	真田産業観光課
15	武石地域スポーツ施設	武石体育館	掲載する	○	スポーツ推進課
		武石総合グラウンド	掲載する	○	
		武石テニスコート	掲載する	○	
		武石屋内ゲートボール場	掲載する	○	
		築地原トレーニングセンター	掲載しない	×	

No.	施設名	市HP掲載	ｷｬｯｼｭﾚｽ決済	担当部署
	学校施設			
16	清明小学校	掲載する	○	教育施設整備室
17	東小学校	掲載する	○	
18	西小学校	掲載する	○	
19	北小学校	掲載する	○	
20	城下小学校	掲載する	○	
21	塩尻小学校	掲載する	○	
22	川辺小学校	掲載する	○	
23	神川小学校	掲載する	○	
24	神科小学校	掲載する	○	
25	豊殿小学校	掲載する	○	
26	東塩田小学校	掲載する	○	
27	中塩田小学校	掲載する	○	
28	塩田西小学校	掲載する	○	
29	浦里小学校	掲載する	○	
30	川西小学校	掲載する	○	
31	南小学校	掲載する	○	
32	丸子中央小学校	掲載する	○	丸子地域教育事務所
33	丸子北小学校	掲載する	○	
34	塩川小学校	掲載する	○	
35	菅平小中学校	掲載する	○	真田地域教育事務所
36	長小学校	掲載する	○	
37	傍陽小学校	掲載する	○	
38	本原小学校	掲載する	○	
39	武石小学校	掲載しない	×	武石地域教育事務所
40	第一中学校	掲載する	○	教育施設整備室
41	第二中学校	掲載する	○	
42	第三中学校	掲載する	○	
43	第四中学校	掲載する	○	
44	第五中学校	掲載する	○	
45	塩田中学校	掲載する	○	
46	第六中学校	掲載する	○	
47	丸子中学校	掲載する	○	丸子地域教育事務所
48	丸子北中学校	掲載する	○	
49	真田中学校	掲載する	○	真田地域教育事務所
	公民館			
50	中央公民館	掲載する	○	中央公民館
51	西部公民館	掲載する	○	西部公民館
52	城南公民館（城南解放会館）	掲載する	○	城南公民館
53	上野が丘公民館	掲載する	○	上野が丘公民館
54	塩田公民館（塩田解放会館）	掲載する	○	塩田公民館
55	川西公民館	掲載する	○	川西公民館
56	丸子公民館	掲載する	○	丸子公民館
57	真田中央公民館	掲載する	○	真田中央公民館
58	武石公民館	掲載する	○	武石公民館
59	神川地区公民館	掲載する	○	中央公民館
60	塩尻地区公民館	掲載する	○	西部公民館
	その他施設			
61	丸子解放センター	掲載する	×	丸子市民サービス課
62	本原担い手研修センター	掲載する	○	真田地域教育事務所
63	上田文化会館	掲載する	○	上田文化会館
64	丸子文化会館	掲載する	×	丸子文化会館
65	iプラザうえだ（市民ICT推進センター）	掲載する	○	DX推進課
66	勤労者福祉センター	掲載する	○	地域雇用推進課
67	+519worklodge（技術研修センター）	掲載する	○	商工課
68	共同福祉施設（サン・ワーク上田）	掲載しない	×	地域雇用推進課
69	丸子福祉センター　※空き状況照会のみ	掲載する	×	丸子市民サービス課
70	真田総合福祉センター　※空き状況照会のみ	掲載する	×	真田市民サービス課
71	上田城跡公園	掲載する	○	都市計画課

71か所　108施設

KPIの達成状況について

資料４－３

KPI①	種別	単位	性質	基準年度	基準値
予約システム導入施設数	アウトプット	施設数	増加KPI	2025	なし
				1年目　目標値	1年目　実績値
				60	50
				2年目　目標値	2年目　実績値
				90	
				3年目　目標値	3年目　実績値
				118	

基準値なしの理由			各施設において電話、窓口、紙台帳等による予約受付を行っており、公共施設として統一的な公共施設予約システムによるオンライン予約受付は実施していなかった。 そのため、事業開始前において本指標と同一の定義で把握できる実績値が存在せず、基準値は設定していない。
「KPI達成」の場合	達成のための取組内容や工夫		
	今後に向けた取組		
「KPI未達成」の場合	達成できなかった理由	選択(全て)	☑ ①：サービス運用期間が短い、もしくは、サービス運用範囲が狭いなど、想定通りのサービスが提供できていないため □ ②：サービスの認知やサービスへの理解が広がらないなど、利用ニーズが想定を下回っているため □ ③：サービスの利用を妨げるような、自然災害などの突発的な外部要因が生じたため □ ④：その他
		詳細	システムの運用開始が3月となり、2025年度内に運用及び導入拡大に充てられる期間が約1か月に限定された。また、特にスポーツ施設は、これまで独自で使用していた予約システムからの切り替えがあったため、他の学校施設や公民館と異なり、段階的導入が必要であった。
	今後に向けた取組		未導入施設については、システム設定及び施設側の受入体制が整い次第、順次導入を予定している。事業全体では、3年間で導入施設数をさらに拡大する見込みであり、2025年度時点の未達分についても、早期に導入を進める。
「KPI未計測」の場合	計測できなかった理由	選択(全て)	□ ①サービス実装の遅れにより実装直後であり、事業実施報告提出までにKPIを計測できる状況ではなかったため □ ②機能的な問題でKPIを測定することができない状況であるため □ ③自然災害など突発的な外部要因により、予定していた計測が実施できなかったため □ ④計測機会がなかったため（例：災害発生時にしか計測できないKPIを設定しているが、そもそも災害が発生しておらず、計測機会がなかったなど） □ ⑤その他
		詳細	
	今後の計測見込み（当てはまる方を選択）	○ 計測見込みが立っている	計測見込み時期
		○ 計測見込みが立っていない	見込みが立っていない理由
	今後に向けた取組		
初年度未設定の場合	今後に向けた取組		

KPI②	種別	単位	性質	基準年度	基準値
オンライン予約の利用割合	アウトプット	パーセント（%）	増加KPI	2025	なし
				1年目　目標値	1年目　実績値
				30	21
				2年目　目標値	2年目　実績値
				40	
				3年目　目標値	3年目　実績値
				50	

基準値なしの理由			予約システム運用前は各施設が電話、窓口等により個別に予約受付を行っており、予約件数及び手段別の内訳を統一的に把握していなかった。 そのため、比較可能な実績値が存在せず、基準値は設定していない。
「KPI達成」の場合	達成のための取組内容や工夫		
	今後に向けた取組		
「KPI未達成」の場合	達成できなかった理由	選択(全て)	☑ ①：サービス運用期間が短い、もしくは、サービス運用範囲が狭いなど、想定通りのサービスが提供できていないため □ ②：サービスの認知やサービスへの理解が広がらないなど、利用ニーズが想定を下回っているため □ ③：サービスの利用を妨げるような、自然災害などの突発的な外部要因が生じたため □ ④：その他
		詳細	システムの運用開始が3月となり、年度内の運用期間が約1か月に限られたことから、利用定着が十分に進まず、運用開始直後の段階ではオンライン予約への移行が進みにくい状況であった。また、システム運用前に受付していた予約については、管理者での予約を入力することとなり、利用者からの予約件数としては少数となったため。
	今後に向けた取組		オンライン予約の利用促進に向けて、各施設窓口でのシステムに対するご案内や、操作方法に関するマニュアルの整備等を行う。 利用者が円滑にオンライン予約を利用できる環境を整備することで、利用割合の段階的な向上を図る。
「KPI未計測」の場合	計測できなかった理由	選択(全て)	□ ①サービス実装の遅れにより実装直後であり、事業実施報告提出までにKPIを計測できる状況ではなかったため □ ②機能的な問題でKPIを測定することができない状況であるため □ ③自然災害など突発的な外部要因により、予定していた計測が実施できなかったため □ ④計測機会がなかったため（例：災害発生時にしか計測できないKPIを設定しているが、そもそも災害が発生しておらず、計測機会がなかったなど） □ ⑤その他
		詳細	
	今後の計測見込み（当てはまる方を選択）	○ 計測見込みが立っている	計測見込み時期
		○ 計測見込みが立っていない	見込みが立っていない理由
	今後に向けた取組		
初年度未設定の場合	今後に向けた取組		

KPI③	種別	単位	性質	基準年度	基準値
利用者満足度調査結果	アウトカム	パーセント（%）	増加KPI	2025	なし
				1年目　目標値	1年目　実績値
				80	未計測
				2年目　目標値	2年目　実績値
				85	
				3年目　目標値	3年目　実績値
				90	

基準値なしの理由			当該システムを新規に導入するものであり、事業開始前には同一のサービスに対する満足度を測定した実績が存在しない。 そのため、本指標と同一条件で比較可能な基準値を設定していない。
「KPI達成」の場合	達成のための取組内容や工夫		
	今後に向けた取組		
「KPI未達成」の場合	達成できなかった理由	選択(全て)	□　①：サービス運用期間が短い、もしくは、サービス運用範囲が狭いなど、想定通りのサービスが提供できていないため □　②：サービスの認知やサービスへの理解が広がらないなど、利用ニーズが想定を下回っているため □　③：サービスの利用を妨げるような、自然災害などの突発的な外部要因が生じたため □　④：その他
		詳細	
	今後に向けた取組		
「KPI未計測」の場合	計測できなかった理由	選択(全て)	☑　①サービス実装の遅れにより実装直後であり、事業実施報告提出までにKPIを計測できる状況ではなかったため □　②機能的な問題でKPIを測定することができない状況であるため □　③自然災害など突発的な外部要因により、予定していた計測が実施できなかったため □　④計測機会がなかったため（例：災害発生時にしか計測できないKPIを設定しているが、そもそも災害が発生しておらず、計測機会がなかったなど） □　⑤その他
		詳細	公共施設予約システムの運用開始が3月となり、年度内における運用期間が約1か月に限られたことから、実施できなかった。 満足度は一定期間の利用実績に基づき評価すべきものであるが、運用開始直後は利用者の操作習熟や問い合わせ対応の影響が大きく、安定した評価が困難であるため、適切な時期に実施することとした。
	今後の計測見込み（当てはまる方を選択）	◉　計測見込みが立っている	計測見込み時期：2026年10月
		○　計測見込みが立っていない	見込みが立っていない理由：
	今後に向けた取組		安定的な運用状況の元で、適切な評価を行う観点から、一定期間の運用実績を確保した後に満足度調査を実施する。運用開始から半年を経過する時期を目安に、予約システム利用者を対象としたアンケート式満足度調査の実施を予定している。
初年度未設定の場合	今後に向けた取組		